

組織拡大の成果を基に、 さらなる闘いをつくりあげよう！ 第35回定期大会成功裡に終わる

JR東海労は6月9日、名古屋市内で第35回定期大会を開催しました。大会には、総勢110名が結集しました。

木下委員長は、挨拶で「3名の組織拡大は、会社の理不尽な攻撃に対し私たちが職場から闘ってきたからこそ勝ち取ることができた。さらに闘いを強化し、水野さん、寄本さん、池田さんに続く組織拡大を目指そう」と訴えました。

来賓として、JR総連柳書記長、楠関ヶ原町議会議員、福島OB会長、鉄道ファミリー菅野営業部長から挨拶を受けました。

質疑では、全代議員からJR東海労に加入した3名の仲間を歓迎し、共に闘う決意が述べられました。そして、本人の同意なき一方的な休日出勤指定に抗する実践的闘い、「新しい人事・賃金制度の見直し」の改悪を許さない闘い、会社の労働基準法、労働協約の恣意的解



釈を許さない闘いなどの発言を中心とした職場からの闘いの報告が相次ぎました。

本橋書記長は「一人はみんなのために、みんなは一人のために闘う。本人の同意なき一方的な休日出勤指定に反対する闘いをさらに推し進め、組織拡大に繋げよう」と総括答弁を行いました。